2025年度

科目名	文章理解(国語)	担当教員	與田 真弓		
対象課程・学年	2 年課程　1 学年	クラス略号	C1	単位数(週の時数)	2 単位
授業形態	講義・演習	実施期間	前期	授業時間数(1回60分)	30 回
学習目標	文章理解を通して幅広く教養を深め、公務員試験に備えて応用力を身に付ける。 長文読解の問題に慣れていく。				
テキスト 教材 参考図書	文章理解　テキストブックA 模擬試験問題 演習プリント				

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合	評価基準
	認定試験	60%	期末に行われる認定試験の得点率を基に、60点満点に換算し学力得点を算出する。また、その他(模擬試験結果・授業態度・出席等)の得点を学力得点に合わせて総合的に評価する。成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、F(59点以下)とする。
	その他	40%	

履修上の留意事項	学生の実力や社会情勢の変化に伴い、オンラインでの授業実施の可能性がある。

履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容
	1	授業ガイダンス	公務員試験における文章理解の概要を説明する。 模擬試験の解説をする。
	2	文章理解 内容把握1	内容把握の解き方のポイントを説明する。 長文読解の問題になれていく。
	3	文章理解 内容把握2	テキスト問題と演習プリントをする。 模擬試験の解説をする。
	4	文章理解 内容把握3	テキスト問題と演習プリントをする。
	5	文章理解 内容把握4	テキスト問題と演習プリントをする。 模擬試験の解説をする。
	6	文章理解 内容把握5	テキスト問題と演習プリントをする。
	7	文章理解 要旨把握1	要旨把握の解き方のポイントを説明する。 模擬試験の解説をする。
	8	文章理解 要旨把握2	テキスト問題と演習プリントをする。
	9	文章理解 要旨把握3	テキスト問題と演習プリントをする。 模擬試験の解説をする。
	10	文章理解 要旨把握4	テキスト問題と演習プリントをする。
	11	文章理解 要旨把握5	テキスト問題と演習プリントをする。 模擬試験の解説をする。
	12	文章理解 文章整序1	文章整序の解き方のポイントを説明する。
	13	文章理解 文章整序2	テキスト問題と演習プリントをする。 模擬試験の解説をする。
	14	文章理解 文章整序3	テキスト問題と演習プリントをする。
	15	文章理解 文章整序4	テキスト問題と演習プリントをする。 模擬試験の解説をする。
	16	文章理解 文章整序5	テキスト問題と演習プリントをする。
	17	文章理解 空欄補充1	空欄補充の解き方のポイントを説明する。 模擬試験の解説をする。
	18	文章理解 空欄補充2	テキスト問題と演習プリントをする。
	19	文章理解 空欄補充3	テキスト問題と演習プリントをする。 模擬試験の解説をする。
	20	文章理解 空欄補充4	テキスト問題と演習プリントをする。
	21	作文実践1	9月から10月の公務員試験に向けての作文指導を行う。 過去問題を使用する。 模擬試験の解説をする。
	22	作文実践2	9月から10月の公務員試験に向けての作文指導を行う。 過去問題を使用する。

23	作文実践3	9月から10月の公務員試験に向けての作文指導を行う。 過去問題を使用する。 模擬試験の解説をする。
24	作文実践4	9月から10月の公務員試験に向けての作文指導を行う。 過去問題を使用する。
25	作文実践5	9月から10月の公務員試験に向けての作文指導を行う。 過去問題を使用する。 模擬試験の解説をする。
26	作文実践6	9月から10月の公務員試験に向けての作文指導を行う。 過去問題を使用する。
27	総合演習1	過去問題を実施する。 模擬試験の解説をする。
28	総合演習2	過去問題を実施する。
29	総合演習3	過去問題を実施する。 模擬試験の解説をする。
30	総合演習4	過去問題を実施する。

2025年度

科目名	課題処理(判断推理)	担当教員	宮﨑 將太		
対象課程・学年	2 年課程　2 学年	クラス略号	C2	単位数(週の時数)	3 単位
授業形態	講義・演習	実施期間	前期	授業時間数(1回60分)	45 回
学習目標	授業を通して多くの問題に触れ、公務員試験でも出題数の多い判断推理で高得点を取れる力をつけ、教養試験の点数の底上げを目指す。点数の向上だけでなく、問題を通して思考力・判断力を養い、社会人として活躍できる人材を育成する。				
テキスト 教材 参考図書	判断推理 TEXT BOOK B 模擬試験問題				

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合	評価基準
	認定試験	60%	期末に行われる認定試験の得点率を基に、60点満点に換算し学力得点を算出する。また、その他(模擬試験結果・授業態度・出席等)の得点を学力得点に合わせて総合的に評価する。成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、F(59点以下)とする。
	その他	40%	

履修上の留意事項	学生の実力や社会情勢の変化に伴い、オンラインでの授業実施の可能性がある。

履修主題・履修内容

回数	履修主題	履修内容
1	授業ガイダンス	授業のルールと進め方を説明する。
2	命題と論理	三段論法の基本を身に付ける。
3	命題と論理	条件を求める問題の解き方を身に付ける。
4	命題と論理	かつ・またはの入った問題の解き方を身に付ける。
5	命題と論理	ベン図を利用した問題の解き方を身に付ける。
6	集合算	2集合の問題の解き方を身に付ける。
7	集合算	3集合の基本的な問題の解き方を身に付ける。
8	集合算	3集合の応用問題の解き方を身に付ける。
9	集合算	キャロル図を用いた問題の解き方を身に付ける。
10	集合算	線分図を用いた問題の解き方を身に付ける。
11	対応関係	表を用いて対応関係を求める。
12	対応関係	1対複数の対応関係の問題の解き方を身に付ける。
13	試合	表を用いてリーグ戦の問題の解き方を身に付ける。
14	試合	トーナメント戦の問題の解き方を身に付ける。
15	順序関係	樹形図を用いた問題の解き方を身に付ける。
16	順序関係	順位変動図を用いた問題の解き方を身に付ける。
17	位置関係	円形に並ぶ問題の解き方を身に付ける。
18	位置関係	部屋に入る問題の解き方を身に付ける。
19	位置関係	方角に関する問題の解き方を身に付ける。
20	うそつき問題	真理表を用いた問題の解き方を身に付ける。
21	うそつき問題	半分本当・半分うその問題の解き方を身に付ける。
22	うそつき問題	グループ分けの解き方を身に付ける。
23	うそつき問題	その他のうそつき問題の解き方を身に付ける。

履修主題・履修内容	24	数を用いた問題	表を用いて基本的な問題の解き方を身に付ける。
	25	数を用いた問題	表を用いて応用問題の解き方を身に付ける。
	26	特殊な問題	暗号解読の問題の解き方を身に付ける。
	27	特殊な問題	曜日算の問題の解き方を身に付ける。
	28	特殊な問題	時計の問題の解き方を身に付ける。
	29	特殊な問題	天秤の問題の解き方を身に付ける。
	30	特殊な問題	川渡りの問題の解き方を身に付ける。
	31	特殊な問題	ディラック問題の解き方を身に付ける。
	32	特殊な問題	家系図の問題の解き方を身に付ける。
	33	総合演習	問題演習　命題と論理
	34	総合演習	問題演習　集合算
	35	総合演習	問題演習　対応関係
	36	総合演習	問題演習　試合
	37	総合演習	問題演習　順序関係
	38	総合演習	問題演習　位置関係
	39	総合演習	問題演習　うそつき問題
	40	総合演習	問題演習　数を用いた問題
	41	総合演習	問題演習　特殊な問題
	42	過去問演習1	時間を意識して過去問をチェックする。
	43	過去問演習2	時間を意識して過去問をチェックする。
	44	過去問演習3	時間を意識して過去問をチェックする。
	45	過去問演習4	時間を意識して過去問をチェックする。

2025年度

科目名	数的処理(数的推理)	担当教員	宮﨑 將太		
対象課程・学年	2 年課程　1 学年	クラス略号	C1	単位数(週の時数)	3 単位
授業形態	講義・演習	実施期間	前期	授業時間数(1回60分)	45 回
学習目標	授業を通して多くの問題に触れ、公務員試験でも出題数の多い数的推理で高得点を取れる力をつけ、教養試験の点数の底上げを目指す。点数の向上だけでなく、問題を通して思考力・判断力を養い、社会人として活躍できる人材を育成する。				
テキスト 教材 参考図書	判断推理 TEXT BOOK A 模擬試験問題				

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合	評価基準
	認定試験	60%	期末に行われる認定試験の得点率を基に、60点満点に換算し学力得点を算出する。また、その他(模擬試験結果・授業態度・出席等)の得点を学力得点に合わせて総合的に評価する。成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、F(59点以下)とする。
	その他	40%	

履修上の留意事項	学生の実力や社会情勢の変化に伴い、オンラインでの授業実施の可能性がある。

履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容
	1	オリエンテーション	授業のルールについて学ぶ。
	2	文字式	数量を文字式で表す。
	3	方程式1	数量を文字式で表し、値を求める。
	4	方程式2	数量を文字式で表し、値を求める。(応用)
	5	整数1	2桁の整数について値を求める。
	6	整数2	約数と倍数について値を求める。
	7	整数3	最大公約数を求める。
	8	整数4	最大公約数を用いて問題を解く。
	9	整数5	記数法について学ぶ。
	10	整数6	記数法を用いて問題を解く。
	11	整数7	虫食い算・覆面算を解く。
	12	整数8	魔方陣の問題を解く。
	13	文章題1	方程式の復習をする。
	14	文章題2	連立方程式を用いて問題を解く。
	15	文章題3	不等式を用いて問題を解く。
	16	文章題4	不等式を用いて問題を解く。(応用)
	17	文章題5	過不足の問題を解く。
	18	文章題6	年齢算の問題を解く。
	19	文章題7	平均算の問題を解く。
	20	割合1	比の考え方を学ぶ。
	21	割合2	比の考え方を用いて問題を解く。
	22	割合3	濃度の問題を解く。
	23	割合4	濃度の問題を解く。(応用)

履修主題・履修内容	24	割合5	利益の問題を解く。
	25	割合6	利益の問題を解く。(応用)
	26	割合7	比率について学ぶ。
	27	割合8	比率の問題を解く。
	28	速さ1	速さの単位の問題を解く。
	29	速さ2	速さの問題を解く。
	30	速さ3	旅人算の問題を解く。
	31	速さ4	旅人算の問題を解く。(応用)
	32	速さ5	流水算の問題を解く。
	33	速さ6	流水算の問題を解く。(応用)
	34	速さ7	通過算の問題を解く。
	35	速さ8	通過算の問題を解く。(応用)
	36	仕事算1	仕事算の問題を解く。
	37	仕事算2	仕事算の問題を解く。(応用)
	38	ニュートン算1	ニュートン算の問題を解く。
	39	ニュートン算2	ニュートン算の問題を解く。(応用)
	40	時計算	時計算の問題を解く。
	41	復習1	いままでの復習を行う。
	42	復習2	いままでの復習を行う。
	43	復習3	いままでの復習を行う。
	44	復習4	いままでの復習を行う。
	45	復習5	いままでの復習を行う。

2025年度

科目名	数的処理（数的推理）	担当教員	水町　祐士		
対象課程・学年	2 年課程　2 学年	クラス略号	C2	単位数（週の時数）	4 単位
授業形態	講義・演習	実施期間	前期	授業時間数（1回60分）	60 回

学習目標

単元別に必要な基礎知識を身に付け、解法を理解し、問題を解くことができるようにする。
問題を分析し、式に変換をして問題をとくことができるようにする。
社会に出て、問題に直面した際、どのように処理していくか考え行動する力を身に付ける。

テキスト 教材 参考図書

テキストBOOK　B　数的推理
公務員初級模試
オリジナル演習プリント

評価方法・評価基準

評価方法	評価割合	評価基準
認定試験	60%	期末に行われる認定試験の得点率を基に、60点満点に換算し学力得点を算出する。また、その他（模擬試験結果・授業態度・出席等）の得点を学力得点に合わせて総合的に評価する。成績評価基準は、S（90点以上）、A（80点以上）、B（70点以上）、C（60点以上）、F（59点以下）とする。
その他	40%	

履修上の留意事項

学生の実力や社会情勢の変化に伴い、オンラインでの授業実施の可能性がある。

履修主題・履修内容

回数	履修主題	履修内容
1	整数問題	例題を用いて解き方を確認する。練習問題を使って解き方を身に付ける。
2	倍数と約数	基本チェックをし、例題を用いて解き方を確認する。練習問題を使って解き方を身に付ける。
3	記数法	例題を用いて解き方を確認する。練習問題を使って解き方を身に付ける。
4	虫食い算・覆面算	例題を用いて解き方を確認する。練習問題を使って解き方を身に付ける。
5	魔法陣	例題を用いて解き方を確認する。練習問題を使って解き方を身に付ける。
6	方程式	例題を用いて解き方を確認する。練習問題を使って解き方を身に付ける。
7	不等式	例題を用いて解き方を確認する。練習問題を使って解き方を身に付ける。
8	過不足	例題を用いて解き方を確認する。練習問題を使って解き方を身に付ける。
9	年齢算	例題を用いて解き方を確認する。練習問題を使って解き方を身に付ける。
10	平均算	例題を用いて解き方を確認する。練習問題を使って解き方を身に付ける。
11	割合	基本チェックをし、例題を用いて解き方を確認する。練習問題を使って解き方を身に付ける。
12	濃度算	基本チェックをし、例題を用いて解き方を確認する。練習問題を使って解き方を身に付ける。
13	利益算	基本チェックをし、例題を用いて解き方を確認する。練習問題を使って解き方を身に付ける。
14	比率	基本チェックをし、例題を用いて解き方を確認する。練習問題を使って解き方を身に付ける。
15	速さ	基本チェックをし、例題を用いて解き方を確認する。練習問題を使って解き方を身に付ける。
16	旅人算	例題を用いて解き方を確認する。練習問題を使って解き方を身に付ける。
17	流水算	例題を用いて解き方を確認する。練習問題を使って解き方を身に付ける。
18	通過算	例題を用いて解き方を確認する。練習問題を使って解き方を身に付ける。
19	仕事算	例題を用いて解き方を確認する。練習問題を使って解き方を身に付ける。
20	ニュートン算	例題を用いて解き方を確認する。練習問題を使って解き方を身に付ける。
21	時計算	例題を用いて解き方を確認する。練習問題を使って解き方を身に付ける。
22	数え上げの原則	例題を用いて解き方を確認する。練習問題を使って解き方を身に付ける。
23	順列	基本チェックをし、例題を用いて解き方を確認する。練習問題を使って解き方を身に付ける。

履修主題・履修内容	24	組合せ	基本チェックをし、例題を用いて解き方を確認する。練習問題を使って解き方を身に付ける。
	25	確率	基本チェックをし、例題を用いて解き方を確認する。練習問題を使って解き方を身に付ける。
	26	整数問題	公務員試験に近い分野ごとのオリジナルプリントの問題を解いて、定着を図る。
	27	倍数と約数	公務員試験に近い分野ごとのオリジナルプリントの問題を解いて、定着を図る。
	28	記数法	公務員試験に近い分野ごとのオリジナルプリントの問題を解いて、定着を図る。
	29	虫食い算・覆面算	公務員試験に近い分野ごとのオリジナルプリントの問題を解いて、定着を図る。
	30	魔法陣	公務員試験に近い分野ごとのオリジナルプリントの問題を解いて、定着を図る。
	31	方程式	公務員試験に近い分野ごとのオリジナルプリントの問題を解いて、定着を図る。
	32	不等式	公務員試験に近い分野ごとのオリジナルプリントの問題を解いて、定着を図る。
	33	過不足	公務員試験に近い分野ごとのオリジナルプリントの問題を解いて、定着を図る。
	34	年齢算	公務員試験に近い分野ごとのオリジナルプリントの問題を解いて、定着を図る。
	35	平均算	公務員試験に近い分野ごとのオリジナルプリントの問題を解いて、定着を図る。
	36	割合	公務員試験に近い分野ごとのオリジナルプリントの問題を解いて、定着を図る。
	37	濃度算	公務員試験に近い分野ごとのオリジナルプリントの問題を解いて、定着を図る。
	38	利益算	公務員試験に近い分野ごとのオリジナルプリントの問題を解いて、定着を図る。
	39	比率	公務員試験に近い分野ごとのオリジナルプリントの問題を解いて、定着を図る。
	40	速さ	公務員試験に近い分野ごとのオリジナルプリントの問題を解いて、定着を図る。
	41	旅人算	公務員試験に近い分野ごとのオリジナルプリントの問題を解いて、定着を図る。
	42	流水算	公務員試験に近い分野ごとのオリジナルプリントの問題を解いて、定着を図る。
	43	通過算	公務員試験に近い分野ごとのオリジナルプリントの問題を解いて、定着を図る。
	44	仕事算	公務員試験に近い分野ごとのオリジナルプリントの問題を解いて、定着を図る。
	45	ﾆｭｰﾄﾝ算	公務員試験に近い分野ごとのオリジナルプリントの問題を解いて、定着を図る。
	46	時計算	公務員試験に近い分野ごとのオリジナルプリントの問題を解いて、定着を図る。
	47	数え上げの原則	公務員試験に近い分野ごとのオリジナルプリントの問題を解いて、定着を図る。
	48	順列	公務員試験に近い分野ごとのオリジナルプリントの問題を解いて、定着を図る。
	49	組合せ	公務員試験に近い分野ごとのオリジナルプリントの問題を解いて、定着を図る。
	50	確率	公務員試験に近い分野ごとのオリジナルプリントの問題を解いて、定着を図る。
	51	演習問題	過去問題で作成されたプリントを用いて、時間を計り素早く解けるように実戦形式でスキルを磨く。
	52	演習問題	過去問題で作成されたプリントを用いて、時間を計り素早く解けるように実戦形式でスキルを磨く。
	53	演習問題	過去問題で作成されたプリントを用いて、時間を計り素早く解けるように実戦形式でスキルを磨く。
	54	演習問題	過去問題で作成されたプリントを用いて、時間を計り素早く解けるように実戦形式でスキルを磨く。
	55	演習問題	過去問題で作成されたプリントを用いて、時間を計り素早く解けるように実戦形式でスキルを磨く。
	56	演習問題	過去問題で作成されたプリントを用いて、時間を計り素早く解けるように実戦形式でスキルを磨く。
	57	演習問題	過去問題で作成されたプリントを用いて、時間を計り素早く解けるように実戦形式でスキルを磨く。
	58	演習問題	過去問題で作成されたプリントを用いて、時間を計り素早く解けるように実戦形式でスキルを磨く。

	59	演習問題	過去問題で作成されたプリントを用いて、時間を計り素早く解けるように実戦形式でスキルを磨く。
	60	演習問題	過去問題で作成されたプリントを用いて、時間を計り素早く解けるように実戦形式でスキルを磨く。

2025年度

科目名	数的処理(数的推理)	担当教員	水町　祐士		
対象課程・学年	1 年課程　1 学年	クラス略号	A1	単位数(週の時数)	4 単位
授業形態	講義・演習	実施期間	前期	授業時間数(1回60分)	60 回

学習目標	単元別に必要な基礎知識を身に付け、解法を理解し、問題を解くことができるようにする。 問題を分析し、式に変換をして問題をとくことができるようにする。 社会に出て、問題に直面した際、どのように処理していくか考え行動する力を身に付ける。
テキスト 教材 参考図書	テキストBOOK A 数的推理 公務員初級模試 オリジナル演習プリント

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合	評価基準
	認定試験	60%	期末に行われる認定試験の得点率を基に、60点満点に換算し学力得点を算出する。また、その他(模擬試験結果・授業態度・出席等)の得点を学力得点に合わせて総合的に評価する。成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、F(59点以下)とする。
	その他	40%	

履修上の留意事項	学生の実力や社会情勢の変化に伴い、オンラインでの授業実施の可能性がある。

履修主題・履修内容

回数	履修主題	履修内容
1	整数問題	基本チェックをし、例題を用いて解き方を確認する。練習問題を使って解き方を身に付ける。
2	倍数と約数	基本チェックをし、例題を用いて解き方を確認する。練習問題を使って解き方を身に付ける。
3	記数法	基本チェックをし、例題を用いて解き方を確認する。練習問題を使って解き方を身に付ける。
4	虫食い算・覆面算	例題を用いて解き方を確認する。練習問題を使って解き方を身に付ける。
5	魔法陣	例題を用いて解き方を確認する。練習問題を使って解き方を身に付ける。
6	方程式	基本チェックをし、例題を用いて解き方を確認する。練習問題を使って解き方を身に付ける。
7	不等式	基本チェックをし、例題を用いて解き方を確認する。練習問題を使って解き方を身に付ける。
8	過不足	例題を用いて解き方を確認する。練習問題を使って解き方を身に付ける。
9	年齢算	例題を用いて解き方を確認する。練習問題を使って解き方を身に付ける。
10	平均算	例題を用いて解き方を確認する。練習問題を使って解き方を身に付ける。
11	割合	基本チェックをし、例題を用いて解き方を確認する。練習問題を使って解き方を身に付ける。
12	濃度算	例題を用いて解き方を確認する。練習問題を使って解き方を身に付ける。
13	利益算	例題を用いて解き方を確認する。練習問題を使って解き方を身に付ける。
14	比率	基本チェックをし、例題を用いて解き方を確認する。練習問題を使って解き方を身に付ける。
15	速さ	基本チェックをし、例題を用いて解き方を確認する。練習問題を使って解き方を身に付ける。
16	旅人算	例題を用いて解き方を確認する。練習問題を使って解き方を身に付ける。
17	流水算	例題を用いて解き方を確認する。練習問題を使って解き方を身に付ける。
18	通過算	例題を用いて解き方を確認する。練習問題を使って解き方を身に付ける。
19	仕事算	例題を用いて解き方を確認する。練習問題を使って解き方を身に付ける。
20	ﾆｭｰﾄﾝ算	例題を用いて解き方を確認する。練習問題を使って解き方を身に付ける。
21	時計算	例題を用いて解き方を確認する。練習問題を使って解き方を身に付ける。
22	数え上げの原則	例題を用いて解き方を確認する。練習問題を使って解き方を身に付ける。
23	順列	例題を用いて解き方を確認する。練習問題を使って解き方を身に付ける。

履修主題・履修内容	24	組合せ	例題を用いて解き方を確認する。練習問題を使って解き方を身に付ける。
	25	確率	例題を用いて解き方を確認する。練習問題を使って解き方を身に付ける。
	26	整数問題 倍数と約数	テキストの練習問題を用いて、解き方の再確認を行う。
	27	記数法 虫食い算	テキストの練習問題を用いて、解き方の再確認を行う。
	28	覆面算 魔法陣	テキストの練習問題を用いて、解き方の再確認を行う。
	29	方程式 不等式	テキストの練習問題を用いて、解き方の再確認を行う。
	30	過不足 年齢算	テキストの練習問題を用いて、解き方の再確認を行う。
	31	平均算 割合	テキストの練習問題を用いて、解き方の再確認を行う。
	32	濃度算 利益算	テキストの練習問題を用いて、解き方の再確認を行う。
	33	比率 速さ	テキストの練習問題を用いて、解き方の再確認を行う。
	34	旅人算 流水算	テキストの練習問題を用いて、解き方の再確認を行う。
	35	通過算 仕事算	テキストの練習問題を用いて、解き方の再確認を行う。
	36	ﾆｭｰﾄﾝ算 時計算	テキストの練習問題を用いて、解き方の再確認を行う。
	37	数え上げの原則	テキストの練習問題を用いて、解き方の再確認を行う。
	38	順列	テキストの練習問題を用いて、解き方の再確認を行う。
	39	組合せ	テキストの練習問題を用いて、解き方の再確認を行う。
	40	確率	テキストの練習問題を用いて、解き方の再確認を行う。
	41	演習問題	公務員試験に近い分野ごとのオリジナルプリントの問題を解いて、定着を図る。
	42	演習問題	公務員試験に近い分野ごとのオリジナルプリントの問題を解いて、定着を図る。
	43	演習問題	公務員試験に近い分野ごとのオリジナルプリントの問題を解いて、定着を図る。
	44	演習問題	公務員試験に近い分野ごとのオリジナルプリントの問題を解いて、定着を図る。
	45	演習問題	公務員試験に近い分野ごとのオリジナルプリントの問題を解いて、定着を図る。
	46	演習問題	公務員試験に近い分野ごとのオリジナルプリントの問題を解いて、定着を図る。
	47	演習問題	公務員試験に近い分野ごとのオリジナルプリントの問題を解いて、定着を図る。
	48	演習問題	公務員試験に近い分野ごとのオリジナルプリントの問題を解いて、定着を図る。
	49	演習問題	公務員試験に近い分野ごとのオリジナルプリントの問題を解いて、定着を図る。
	50	演習問題	公務員試験に近い分野ごとのオリジナルプリントの問題を解いて、定着を図る。
	51	演習問題	過去問題で作成されたプリントを用いて、時間を計り素早く解けるように実戦形式でスキルを磨く。
	52	演習問題	過去問題で作成されたプリントを用いて、時間を計り素早く解けるように実戦形式でスキルを磨く。
	53	演習問題	過去問題で作成されたプリントを用いて、時間を計り素早く解けるように実戦形式でスキルを磨く。
	54	演習問題	過去問題で作成されたプリントを用いて、時間を計り素早く解けるように実戦形式でスキルを磨く。
	55	演習問題	過去問題で作成されたプリントを用いて、時間を計り素早く解けるように実戦形式でスキルを磨く。
	56	演習問題	過去問題で作成されたプリントを用いて、時間を計り素早く解けるように実戦形式でスキルを磨く。
	57	演習問題	過去問題で作成されたプリントを用いて、時間を計り素早く解けるように実戦形式でスキルを磨く。
	58	演習問題	過去問題で作成されたプリントを用いて、時間を計り素早く解けるように実戦形式でスキルを磨く。

	59	演習問題	過去問題で作成されたプリントを用いて、時間を計り素早く解けるように実戦形式でスキルを磨く。
	60	演習問題	過去問題で作成されたプリントを用いて、時間を計り素早く解けるように実戦形式でスキルを磨く。

2025年度

科目名	資料解釈	担当教員	小澤　明寿		
対象課程・学年	2 年課程　2 学年	クラス略号	C2	単位数（週の時数）	3 単位
授業形態	講義・演習	実施期間	前期	授業時間数（1回60分）	45 回

学習目標	模擬試験における資料解釈の得点率80%を目指します。 試験本番では満点を目指します。
テキスト 教材 参考図書	2025 TEXT BOOK B 数的処理 資料解釈

評価方法・評価基準

評価方法	評価割合	評価基準
認定試験	60%	期末に行われる認定試験の得点率を基に、60点満点に換算し学力得点を算出する。また、その他（模擬試験結果・授業態度・出席等）の得点を学力得点に合わせて総合的に評価する。成績評価基準は、S（90点以上）、A（80点以上）、B（70点以上）、C（60点以上）、F（59点以下）とする。
その他	40%	

履修上の留意事項	学生の実力や社会情勢の変化に伴い、オンラインでの授業実施の可能性がある。

履修主題・履修内容

回数	履修主題	履修内容
1	模試解説，p.1～2	実数・割合①
2	p.3～6	実数・割合②
3	模試解説，p.7～8	実数・割合③
4	p.9～12	実数・割合④
5	模試解説，p.13～14	実数・割合⑤
6	p.15～18	実数・割合⑥
7	模試解説，p.19～20	実数・割合⑦
8	p.21～24	実数・割合⑧
9	模試解説，p.25～26	実数・割合⑨
10	p.27～30	実数・割合⑩
11	模試解説，p.31～32	実数・割合⑪
12	p.33～36	実数・割合⑫
13	模試解説，p.37～38	構成比・割合①
14	p.39～p.42	構成比・割合②
15	模試解説，p.43～44	構成比・割合③
16	p.45～48	構成比・割合④
17	模試解説，p.49～50	構成比・割合⑤
18	p.51～54	構成比・割合⑥
19	模試解説,p.55～56	構成比・割合⑦
20	p.57～60	構成比・割合⑧
21	模試解説,p.61～62	構成比・割合⑨
22	p.63～66	構成比・割合⑩
23	模試解説,p.67～68	構成比・割合⑪

履修主題・履修内容	24	p.69～72	構成比・割合⑫
	25	模試解説，過去問演習	国家一般税務・刑務官・東消Ⅲの過去問
	26	過去問演習	国家一般税務・刑務官・東消Ⅲの過去問
	27	模試解説，過去問演習	国家一般税務・刑務官・東消Ⅲの過去問
	28	過去問演習	国家一般税務・刑務官・東消Ⅲの過去問
	29	模試解説，過去問演習	国家一般税務・刑務官・東消Ⅲの過去問
	30	過去問演習	国家一般税務・刑務官・東消Ⅲの過去問
	31	模試解説，過去問演習	国家一般税務・刑務官・東消Ⅲの過去問
	32	過去問演習	国家一般税務・刑務官・東消Ⅲの過去問
	33	模試解説，過去問演習	国家一般税務・刑務官・東消Ⅲの過去問
	34	過去問演習	国家一般税務・刑務官・東消Ⅲの過去問
	35	模試解説，過去問演習	国家一般税務・刑務官・東消Ⅲの過去問
	36	過去問演習	国家一般税務・刑務官・東消Ⅲの過去問
	37	模試解説，過去問演習	国家一般税務・刑務官・東消Ⅲの過去問
	38	過去問演習	国家一般税務・刑務官・東消Ⅲの過去問
	39	模試解説，過去問演習	国家一般税務・刑務官・東消Ⅲの過去問
	40	過去問演習	国家一般税務・刑務官・東消Ⅲの過去問
	41	模試解説，過去問演習	国家一般税務・刑務官・東消Ⅲの過去問
	42	過去問演習	国家一般税務・刑務官・東消Ⅲの過去問
	43	模試解説，過去問演習	国家一般税務・刑務官・東消Ⅲの過去問
	44	過去問演習	国家一般税務・刑務官・東消Ⅲの過去問
	45	模試解説，過去問演習	国家一般税務・刑務官・東消Ⅲの過去問
	46	過去問演習	国家一般税務・刑務官・東消Ⅲの過去問

2025年度

科目名	資料解釈	担当教員	小澤　明寿		
対象課程・学年	1 年課程　1 学年	クラス略号	A1	単位数（週の時数）	3 単位
授業形態	講義・演習	実施期間	前期	授業時間数（1回60分）	45 回
学習目標	模擬試験における資料解釈の得点率80%を目指します。				
テキスト 教材 参考図書	2025 TEXT BOOK A 数的処理 資料解釈				

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合	評価基準
	認定試験	60%	期末に行われる認定試験の得点率を基に、60点満点に換算し学力得点を算出する。また、その他（模擬試験結果・授業態度・出席等）の得点を学力得点に合わせて総合的に評価する。成績評価基準は、S（90点以上）、A（80点以上）、B（70点以上）、C（60点以上）、F（59点以下）とする。
	その他	40%	

履修上の留意事項	学生の実力や社会情勢の変化に伴い、オンラインでの授業実施の可能性がある。

履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容
	1	模試解説, p.1～2	実数・構成比①
	2	p.3～6	実数・構成比②
	3	模試解説, p.7～8	実数・構成比③
	4	p.9～12	実数・構成比④
	5	模試解説, p.13～14	指数・増加率①
	6	p.15～18	指数・増加率②
	7	模試解説, p.19～20	指数・増加率③
	8	p.21～24	指数・増加率④
	9	模試解説, p.25～26	その他①
	10	p.27～30	その他②
	11	模試解説, p.31～32	演習問題①
	12	p.33～36	演習問題②
	13	模試解説, p.37～38	演習問題③
	14	p.39～p.42	演習問題④
	15	模試解説, p.43～44	演習問題⑤
	16	p.45～48	演習問題⑥
	17	模試解説, p.49～50	演習問題⑦
	18	p.51～54	演習問題⑧
	19	模試解説,p.55～56	演習問題⑨
	20	p.57～60	演習問題⑩
	21	模試解説,p.61～62	演習問題⑪
	22	p.63～66	演習問題⑫
	23	模試解説,p.67～68	演習問題⑬

履修主題・履修内容			
	24	p.69～72	演習問題⑭
	25	模試解説，過去問演習	国家一般税務・刑務官・東消Ⅲの過去問
	26	過去問演習	国家一般税務・刑務官・東消Ⅲの過去問
	27	模試解説，過去問演習	国家一般税務・刑務官・東消Ⅲの過去問
	28	過去問演習	国家一般税務・刑務官・東消Ⅲの過去問
	29	模試解説，過去問演習	国家一般税務・刑務官・東消Ⅲの過去問
	30	過去問演習	国家一般税務・刑務官・東消Ⅲの過去問
	31	模試解説，過去問演習	国家一般税務・刑務官・東消Ⅲの過去問
	32	過去問演習	国家一般税務・刑務官・東消Ⅲの過去問
	33	模試解説，過去問演習	国家一般税務・刑務官・東消Ⅲの過去問
	34	過去問演習	国家一般税務・刑務官・東消Ⅲの過去問
	35	模試解説，過去問演習	国家一般税務・刑務官・東消Ⅲの過去問
	36	過去問演習	国家一般税務・刑務官・東消Ⅲの過去問
	37	模試解説，過去問演習	国家一般税務・刑務官・東消Ⅲの過去問
	38	過去問演習	国家一般税務・刑務官・東消Ⅲの過去問
	39	模試解説，過去問演習	国家一般税務・刑務官・東消Ⅲの過去問
	40	過去問演習	国家一般税務・刑務官・東消Ⅲの過去問
	41	模試解説，過去問演習	国家一般税務・刑務官・東消Ⅲの過去問
	42	過去問演習	国家一般税務・刑務官・東消Ⅲの過去問
	43	模試解説，過去問演習	国家一般税務・刑務官・東消Ⅲの過去問
	44	過去問演習	国家一般税務・刑務官・東消Ⅲの過去問
	45	模試解説，過去問演習	国家一般税務・刑務官・東消Ⅲの過去問
	46	過去問演習	国家一般税務・刑務官・東消Ⅲの過去問

2025年度

科目名	資料解釈	担当教員	小澤　明寿		
対象課程・学年	2 年課程　1 学年	クラス略号	C1	単位数（週の時数）	2 単位
授業形態	講義・演習	実施期間	前期	授業時間数（1回60分）	30 回
学習目標	模擬試験における資料解釈の得点率80%を目指します。 試験本番では満点を目指します。				
テキスト 教材 参考図書	2025 TEXT BOOK A 数的処理 資料解釈				

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合	評価基準
	認定試験	60%	期末に行われる認定試験の得点率を基に、60点満点に換算し学力得点を算出する。また、その他（模擬試験結果・授業態度・出席等）の得点を学力得点に合わせて総合的に評価する。成績評価基準は、S（90点以上）、A（80点以上）、B（70点以上）、C（60点以上）、F（59点以下）とする。
	その他	40%	

履修上の留意事項	学生の実力や社会情勢の変化に伴い、オンラインでの授業実施の可能性がある。

履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容
	1	模試解説, p.1	実数・構成比①
	2	p.2～4	実数・構成比②
	3	模試解説, p.5	実数・構成比③
	4	p.6～8	実数・構成比④
	5	模試解説, p.9	実数・構成比⑤
	6	p.10～12	実数・構成比⑥
	7	模試解説, p.13	指数・増加率①
	8	p.14～16	指数・増加率②
	9	模試解説, p.17	指数・増加率③
	10	p.18～20	指数・増加率④
	11	模試解説, p.21	指数・増加率⑤
	12	p.22～24	指数・増加率⑥
	13	模試解説, p.25	その他①
	14	p.26～28	その他②
	15	模試解説, p.29	演習問題①
	16	p.30～32	演習問題②
	17	模試解説, p.33	演習問題③
	18	p.34～36	演習問題④
	19	模試解説, p.37	演習問題⑤
	20	p.38～40	演習問題⑥
	21	模試解説, p.41	演習問題⑦
	22	p.42～44	演習問題⑧
	23	模試解説, p.45	演習問題⑨

24	p.46～48	演習問題⑩
25	模試解説, p.50	演習問題⑪
26	p.52～54	演習問題⑫
27	模試解説, p.55	演習問題⑬
28	p.56～58	演習問題⑭
29	模試解説, p.59	演習問題⑮
30	p.60～62	演習問題⑯

2025年度

科目名	自然科学（数学基礎）	担当教員	小澤 明寿　水町 祐士　入江 一晃　宮﨑 將太		
対象課程・学年	2 年課程　1 学年	クラス略号	C1	単位数（週の時数）	1 単位
授業形態	講義・演習	実施期間	前期	授業時間数（1回60分）	15 回
学習目標	数学について基礎から復習し、計算力の向上させ、出題数の多い「数的推理」や「判断推理」といった数系 科目の得点率上昇を目指す。。教員4名を配置し、マンツーマンでの指導も行うことで、数学が苦手な学生のフォローをしていく。				
テキスト 教材 参考図書	プリント教材				

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合	評価基準
	認定試験	60%	期末に行われる認定試験の得点率を基に、60点満点に換算し学力得点を算出する。また、その他（模擬試験結果・授業態度・出席等）の得点を学力得点に合わせて総合的に評価する。成績評価基準は、S（90点以上）、A（80点以上）、B（70点以上）、C（60点以上）、F（59点以下）とする。
	その他	40%	

履修上の留意事項	学生の実力や社会情勢の変化に伴い、オンラインでの授業実施の可能性がある。

履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容
	1	計算問題1	基礎的な計算問題を解く。
	2	計算問題2	基礎的な計算問題を解く。
	3	計算問題3	基礎的な計算問題を解く。
	4	計算問題4	2次式が入った計算問題を解く。
	5	計算問題5	2次式が入った計算問題を解く。
	6	計算問題6	高い次数の文字が入った計算問題を解く。
	7	計算問題7	展開・因数分解を用いた計算問題を解く。
	8	計算問題8	展開・因数分解を用いた計算問題を解く。
	9	計算問題9	展開・因数分解を用いた計算問題を解く。
	10	計算問題10	連立方程式を解く。
	11	計算問題11	連立方程式を解く。
	12	文字式	文字式を用いて値を表す。
	13	式の値	文字に式を代入して値を求める。
	14	数量関係1	数量関係を文字式を用いて表す。
	15	数量関係2	数量関係を文字式を用いて表す。

2025年度

科目名	文章理解(国語)	担当教員	堤 昭子		
対象課程・学年	2 年課程　2 学年	クラス略号	C2	単位数(週の時数)	2 単位
授業形態	講義・演習	実施期間	前期	授業時間数(1回60分)	30 回
学習目標	様々なジャンルの文章を読みながら、確かな読解力を養う。 公務員試験の出題のポイントを押さえながら練習を重ねる。				
テキスト 教材 参考図書	『文章理解 TEXT BOOK B』、模擬試験問題、プリント				

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合	評価基準
	認定試験	60%	期末に行われる認定試験の得点率を基に、60点満点に換算し学力得点を算出する。また、その他(模擬試験結果・授業態度・出席等)の得点を学力得点に合わせて総合的に評価する。成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、F(59点以下)とする。
	その他	40%	

履修上の留意事項	学生の実力や社会情勢の変化に伴い、オンラインでの授業実施の可能性がある。

履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容
	1	模試解説、現【1】～【2】	内容合致問題は間違い探しの要領で素早く照らし合わせて読む。 (もっともらしいが本文に書かれていないことを選ばないようにする。) 要旨問題はキーワードや強調表現、「重要・大切・必要」などの言葉に注目する。 (例示を取り上げているだけの選択肢、本文に書かれていても要旨とは言えない選択肢に注意する。) 空欄補充問題のヒントは近くにあることが多い。言い換え表現にも注目する。 整序問題は逆接の接続詞、指示語、同語反復などを探す。問題によってはグループ分けも有効。 古文は最初から諦めず、重要古語をチェックしてみる。細かい文法はわからなくても、読む練習を重ねていけば繰り返し出てくる単語が頭に残るので、大まかなストーリーが見えてくる。選択肢を先に読むのも内容をつかむヒントになる。 テキストにはない漢文も演習問題で数回練習しておく。返り点だけでも理解して漢字の意味からストーリーを考えてみる。
	2	現【3】～【6】、古【1】	
	3	模試解説、現【7】～【9】	
	4	現【10】～【13】、古【2】	
	5	模試解説、現【14】～【16】	
	6	現【17】～【20】、古【3】	
	7	模試解説、現【21】～【23】	
	8	現【24】～【27】、古【4】	
	9	模試解説、現【28】～【30】	
	10	現【31】～【34】、古【5】	
	11	模試解説、現【35】～【38】	
	12	現【39】～【42】、古【6】	
	13	模試解説、現【43】～【45】	
	14	現【46】～【49】、古【7】	
	15	模試解説、現【50】～【52】	
	16	現【53】～【56】、古【8】	
	17	模試解説、現【57】～【59】	
	18	現【60】～【63】、古【9】	
	19	模試解説、現【64】～【66】	
	20	現【67】～【70】、古【10】	
	21	模試解説、現【71】～【73】	
	22	現【74】～【78】、古【11】	
	23	模試解説、現【79】～【81】	
	24	現【82】～【86】、古【12】	

履修主題・履修内容	25	模試解説、現【87】～【89】	
	26	現【90】～【94】、古【13】	
	27	現【95】～【99】、古【14】	
	28	現【100】～【104】、古【15】	
	29	模試解説、現【105】～【107】	
	30	現【108】～【110】、演習プリント	
	31		
	32		
	33		
	34		
	35		
	36		
	37		
	38		
	39		
	40		
	41		
	42		
	43		
	44		
	45		
	46		
	47		
	48		
	49		
	50		
	51		
	52		
	53		
	54		
	55		
	56		
	57		
	58		
	59		
	60		

2025年度

科目名	文章理解(国語)	担当教員	堤 昭子		
対象課程・学年	1 年課程　1 学年	クラス略号	A1	単位数(週の時数)	2 単位
授業形態	講義・演習	実施期間	前期	授業時間数(1回60分)	30 回

学習目標	様々なジャンルの文章を読みながら、確かな読解力を養う。 公務員試験の出題のポイントを押さえながら練習を重ねる。
テキスト 教材 参考図書	『文章理解 TEXT BOOK A』、模擬試験問題、プリント

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合	評価基準
	認定試験	60%	期末に行われる認定試験の得点率を基に、60点満点に換算し学力得点を算出する。また、その他(模擬試験結果・授業態度・出席等)の得点を学力得点に合わせて総合的に評価する。成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、F(59点以下)とする。
	その他	40%	

履修上の留意事項	学生の実力や社会情勢の変化に伴い、オンラインでの授業実施の可能性がある。

履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容
	1	模試解説、現【1】	内容合致問題は間違い探しの要領で素早く照らし合わせて読む。 (もっともらしいが本文に書かれていないことを選ばないようにする。) 要旨問題はキーワードや強調表現、「重要・大切・必要」などの言葉に注目する。 (例示を取り上げているだけの選択肢、本文に書かれていても要旨とは言えない選択肢に注意する。) 空欄補充問題のヒントは近くにあることが多い。言い換え表現にも注目する。 整序問題は逆接の接続詞、指示語、同語反復などを探す。問題によってはグループ分けも有効。 古文は最初から諦めず、重要古語をチェックしてみる。細かい文法はわからなくても、読む練習を重ねていけば繰り返し出てくる単語が頭に残るので、大まかなストーリーが見えてくる。選択肢を先に読むのも内容をつかむヒントになる。 テキストにはない漢文も演習問題で数回練習しておく。返り点だけでも理解して漢字の意味からストーリーを考えてみる。
	2	現【2】～【4】、古【1】	
	3	模試解説、現【5】～【7】	
	4	現【8】～【12】、古【2】	
	5	模試解説、現【13】～【15】	
	6	現【16】～【20】、古【3】	
	7	模試解説、現【21】～【23】	
	8	現【24】～【28】、古【4】	
	9	模試解説、現【29】～【31】	
	10	現【32】～【36】、古【5】	
	11	模試解説、現【37】～【39】	
	12	現【40】～【44】、古【6】	
	13	模試解説、【45】～【47】	
	14	現【48】～【52】、古【7】	
	15	模試解説、【53】～【55】	
	16	現【56】～【60】、古【8】	
	17	模試解説、現【61】～【63】	
	18	現【64】～【68】、古【9】	
	19	模試解説、現【69】～【71】	
	20	現【72】～【76】、古【10】	
	21	模試解説、【77】～【79】	
	22	現【80】～【84】、古【11】	
	23	模試解説、現【85】～【87】	
	24	現【88】～【92】、古【12】	

履修主題・履修内容	25	模試解説、現【93】～【95】	
	26	現【96】～【100】、古【13】	
	27	現【101】～【105】、古【14】	
	28	現【106】～【110】、古【15】	
	29	模試解説、演習プリント	
	30	演習プリント	
	31		
	32		
	33		
	34		
	35		
	36		
	37		
	38		
	39		
	40		
	41		
	42		
	43		
	44		
	45		
	46		
	47		
	48		
	49		
	50		
	51		
	52		
	53		
	54		
	55		
	56		
	57		
	58		
	59		
	60		

2025年度

科目名	人文科学(国語知識)	担当教員	堤 昭子		
対象課程・学年	2年課程　1学年	クラス略号	C1	単位数(週の時数)	1単位
授業形態	講義・演習	実施期間	前期	授業時間数(1回60分)	15回
学習目標	公務員試験で出題されやすい漢字や言葉の知識をしっかりと身につける。 日本文学史や口語文法についても一通りおさえて幅広い教養とする。				
テキスト 教材 参考図書	『国語知識 TEXT BOOK A』、模擬試験問題、プリント				

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合	評価基準
	認定試験	60%	期末に行われる認定試験の得点率を基に、60点満点に換算し学力得点を算出する。また、その他(模擬試験結果・授業態度・出席等)の得点を学力得点に合わせて総合的に評価する。成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、F(59点以下)とする。
	その他	40%	

履修上の留意事項	学生の実力や社会情勢の変化に伴い、オンラインでの授業実施の可能性がある。

履修主題・履修内容

回数	履修主題	履修内容
1	模試解説 漢字の読み、同音異義語	同音異義語は頻出なので、多くの問題を解いて、意味を理解し使い分けができるようにしておく。
2	模試解説 上代・中古文学史、漢字の読み	文学史の流れをおさえながら、問われやすい作品を覚えていく。漢字、語彙の十分な知識をつけて読解力につなげる。
3	模試解説 中世文学史、同音異義語	これまでの文学史の復習をして思い出してみる。次の時代以降もポイントをおさえて頭に残るようにする。
4	近世文学史 慣用句、漢字の読み	若い人があまり使わなくなった慣用句も、できるだけ成り立ちや漢字に注目して印象に残るよう説明する。
5	模試解説、近代文学史(1) ことわざ、四字熟語	四字熟語も出題率が高い。漢字を分解して関連づけて覚えていく。どういう誤字に気をつけるべきかも説明する。
6	模試解説、近代文学史(2) ことわざ、四字熟語	ことわざはその成り立ちを知ると覚えやすく、記憶に残りやすい。ことわざの対義語・類義語もあわせて覚えていく。
7	模試解説、近代文学史(3) 対義語、故事成語	今回で比較的出題率の高い文学史を一通りやり終えることになるので、復習プリントで確認する。
8	模試解説、文学史(詩) 対義語、故事成語	対義語問題を苦手とする人も多いので、意味をしっかり確認して覚えるようにする。故事成語も成り立ちから説明する。
9	模試解説、文学史(短歌・俳句) 四字熟語、慣用句	四字熟語は、読み・漢字・意味のどこからでも出題されるので、いろんなパターンの練習で慣れていく。
10	模試解説、同音異義語 ことわざ、慣用句	漢字や語句はなるべく多くの問題を解いて、知識を確かなものにしておく。日本文学史を全て終了したので復習プリントで確認する。
11	模試解説、語句の用法 漢字の読み、四字熟語	新たに出題の増えた語句の用法問題に慣れる。一つの言葉に複数の意味があることを理解し、正しく選べるようにする。
12	模試解説、同音異義語 ことわざ、口語文法	口語文法は普段何気なく使っているが意外と間違えやすい。出題されやすいものを絞って解説する。
13	模試解説、語句の用法 慣用句、四字熟語	問題演習。徹底して苦手分野をなくしていく。
14	模試解説、漢字の読み 対義語・類義語	問題演習。徹底して苦手分野をなくしていく。
15	同音異義語、四字熟語 ことわざ、文学史	問題演習。徹底して苦手分野をなくしていく。
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		

2025年度

科目名	小論文	担当教員	堤 昭子		
対象課程・学年	1 年課程　1 学年	クラス略号	A1	単位数（週の時数）	1 単位
授業形態	講義・演習・添削	実施期間	前期	授業時間数（1回60分）	15 回
学習目標	自分の考えや公務員に対する思いをしっかりと説明し、適切な日本語で表現できる力をつける。				
テキスト 教材 参考図書	なし。適宜、資料などをプリントで配付する。				

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合	評価基準
	レポート	60%	レポート課題の提出により評価を行う。また、その他（授業態度・出席等）の得点を学力得点に含わせて総合的に評価する。成績評価基準は、S（90点以上）、A（80点以上）、B（70点以上）、C（60点以上）、F（59点以下）とする。
	その他	40%	

履修上の留意事項	学生の実力や社会情勢の変化に伴い、オンラインでの授業実施の可能性がある。

履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容
	1	「私の目指す公務員像」	原稿用紙の使い方、公務員試験の小論文・作文の書き方
	2	行政・税務「社会人になるために必要なこと」 公安・消防・海保「あなたが自分の向上のために努力していること、また、〇〇〇になった場合にそれをどのように生かしていきたいか」	
	3	「チームワークの大切さ」	
	4	行政・税務「あなたが一番誇れるものは何か、それを仕事にどう生かすか」 公安・消防・海保「〇〇〇として必要とされる資質とは」	
	5	行政・税務「行政サービスについて思ったこと」 公安・消防・海保「〇〇〇としての仕事のやりがいは何か、志望した理由を踏まえ、考えを述べよ」	
	6	「近年ボランティアが盛んになっているが、これからのボランティアはどうあるべきか」	
	7	行政・税務「市民が期待する職員とはどんな職員か。また、あなたが職員として今後やっていきたいことも述べよ」 公安・消防・海保「命の大切さについてあなたが考えること」	
	8	行政・税務「他人と信頼関係を築く上で必要なこと」 消防「住民の防災意識を高めていくにはどうすればよいか」 警察「警察官の素質とは何か。また警察官に自分がふさわしいと思う理由を述べよ」	
	9	行政「〇〇〇がより魅力あるところとなるにはどうすればよいと思うか。また、それはなぜか。」 税務・海保「社会生活でのルールについて思うこと」 消防・警察「〇〇〇になって『守りたい』と思っていること」	
	10	「これまでの失敗から学んだこと」	
	11	行政・税務・海保「働くことと責任について」 消防「自分の長所・能力を生かして〇〇市（区・町・村）消防署でやってみたいこと」 警察「インターネットを利用した犯罪について思うこと」	
	12	行政・税務「職員として仕事をすることの魅力は何か。また、仕事に携わる上での心構えについて考えていることも述べよ。」 消防「災害に強いまちづくり」 警察「県民が県警に何を期待しているか、入ったときにどのようにその期待に応えるか」	
	13	行政・税務「この一週間のうちにあなたに起こったうれしい出来事と不満に思ったことをそれぞれ一つずつ挙げて述べよ」 消防「消防職員となって10年間のキャリアプラン」 警察「警備や防犯の専門の民間企業がある中でなぜ警察官を志望するのか」	
	14	行政・税務「これまでの人生で乗り越えた困難と、その経験から学んだこと」 消防「市民が期待する消防官とは」 警察「あなたが一番関心のある治安問題は何か、それをどのように解決したいか」	
	15	行政・税務「人と接する上で一番大事にしていること」 消防「30年後の未来社会を考え、今取り組めると思うこと」 警察「警察官としての厳しさとやさしさについて」	
	16		
	17		
	18		

2025年度

科目名	課題処理(判断推理)	担当教員	岩元　理恵		
対象課程・学年	2 年課程　　1 学年	クラス略号	C1	単位数(週の時数)	3 単位
授業形態	講義・演習	実施期間	前期	授業時間数(1回60分)	45 回
学習目標	公務員初級問題において、判断推理分野を正しく解答できることを目指し、そのための実践力を身に着けることを目標とする。				
テキスト 教材 参考図書	判断推理　text BOOK A 及び　模擬試験問題　過去問プリント等				

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合	評価基準
	認定試験	60%	期末に行われる認定試験の得点率を基に、60点満点に換算し学力得点を算出する。また、その他(模擬試験結果・授業態度・出席等)の得点を学力得点に合わせて総合的に評価する。成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、F(59点以下)とする。
	その他	40%	

履修上の留意事項	学生の実力や社会情勢の変化に伴い、オンラインでの授業実施の可能性がある。

履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容
	1	命題と論理	模試解答
	2	命題と論理	模試解答、論理式の解説、例題
	3	命題と論理	第1節　論理式・対偶・三段論法
	4	命題と論理	模試解答
	5	命題と論理	第2節　「または」「かつ」　第3節　ベン図
	6	集合算	第1節　2集合　第3節　3集合
	7	集合算	模試解答
	8	集合算	第3節　その他の集合算
	9	対応関係	第1節　2集合の対応関係
	10	対応関係	第2節　3集合の対応関係
	11	試合	模試解答
	12	試合	第1節　リーグ戦
	13	試合	第2節　トーナメント戦
	14	順序関係	模試解答
	15	順序関係	第1節　順序決め
	16	順序関係	第2節　数直線による作図
	17	順序関係	模試解答　第3節　差の問題
	18	順序関係	第3節　差の問題　第4節　順位変動図
	19	位置関係　方角関係	第1節　位置関係
	20	位置関係　方角関係	模試解答　　第2節　地図描き　方角
	21	位置関係　方角関係	第2節　地図描き　方角
	22	うそつき問題	第1節真理表の作成
	23	うそつき問題	模試解答　第2節　半分うそ　半分正直

履修主題・履修内容	24	うそつき問題	第2節　半分うそ　半分正直
	25	うそつき問題	第3節グループ分け　第4節　その他のうそつき問題
	26	数を用いた判断推理	模試解答
	27	数を用いた判断推理	問題演習
	28	いろいろな特殊な問題	第1節　暗号解読
	29	いろいろな特殊な問題	模試解答　第2節　曜日算
	30	いろいろな特殊な問題	第2節　曜日算
	31	いろいろな特殊な問題	第3節　ずれた時計の問題　第4節　手順1(天秤)
	32	いろいろな特殊な問題	模試解答　第5節　手順2(川渡)
	33	いろいろな特殊な問題	第6節　手順3(その他)
	34	いろいろな特殊な問題	第7節　ディラック問題
	35	いろいろな特殊な問題	模試解答　第8節　家系図
	36	いろいろな特殊な問題	第8節　家系図
	37	総合演習(基本編)	演習問題
	38	総合演習(基本編)	演習問題
	39	総合演習(基本編)	演習問題
	40	総合演習(基本編)	演習問題
	41	総合演習(基本編)	演習問題
	42	総合演習(基本編)	演習問題
	43	総合演習(基本編)	演習問題
	44	総合演習(基本編)	演習問題
	45	総合演習(基本編)	演習問題

2025年度

科目名	数的処理(計量図形)	担当教員	牧野　孝嗣		
対象課程・学年	2 年課程　2 学年	クラス略号	C2	単位数(週の時数)	1 単位
授業形態	講義・演習	実施期間	前期	授業時間数(1回60分)	15 回
学習目標	中学・高校で習う図形の復習をしながら公務員試験の図形の問題を解いていきます。公式を覚えれば時間をかけずに解ける問題もあるので、しっかりと復習しながら解いていきましょう。				
テキスト 教材 参考図書	計量図形　テキストB 模擬試験問題				

評価方法・評価基準

評価方法	評価割合	評価基準
認定試験	60%	期末に行われる認定試験の得点率を基に、60点満点に換算し学力得点を算出する。また、その他(模擬試験結果・授業態度・出席等)の得点を学力得点に合わせて総合的に評価する。成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、F(59点以下)とする。
その他	40%	

履修上の留意事項	学生の実力や社会情勢の変化に伴い、オンラインでの授業実施の可能性がある。

履修主題・履修内容

回数	履修主題	履修内容
1	授業ガイダンス	テキストやノートの使い方。授業の進め方。
2	三平方の定理	中学で習う三平方の定理の復習
3	三平方の定理	三平方の定理を使い、問題を解く
4	面積	多角形の面積を解く
5	面積	円と扇形の面積を解く
6	表面積・側面積・体積	多面体の体積を解く
7	表面積・側面積・体積	円錐・回転体の表面積・側面積・体積を解く
8	角度	正多角形の内角・外角の和を利用して問題を解く
9	角度	外角の公式・円周角の定理を利用して問題を解く
10	図形の合同と相似	平行線と線分の比の定理を利用して解く
11	図形の合同と相似	相似比・面積比を利用して解く
12	距離	展開図を利用して線分の長さを求める
13	平面幾何	図形の軌跡の距離を求める
14	総合演習	テキストの総合演習で演習を行う
15	総合演習	テキストの総合演習で演習を行う
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		

2025年度

科目名	課題処理(空間把握)	担当教員	中村 哲士		
対象課程・学年	1 年課程　1 学年	クラス略号	A1	単位数(週の時数)	3 単位
授業形態	講義・演習	実施期間	前期	授業時間数(1回60分)	45 回
学習目標	公務員試験一次合格を目指す				
テキスト教材参考図書	BookA(課題処理・空間把握)・模試問題				

評価方法・評価基準

評価方法	評価割合	評価基準
認定試験	60%	期末に行われる認定試験の得点率を基に、60点満点に換算し学力得点を算出する。また、その他(模擬試験結果・授業態度・出席等)の得点を学力得点に合わせて総合的に評価する。成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、F(59点以下)とする。
その他	40%	

履修上の留意事項: 学生の実力や社会情勢の変化に伴い、オンラインでの授業実施の可能性がある。

履修主題・履修内容

回数	履修主題	履修内容
1	図形の分割と組合せ	平面図形の分割と組合せ
2	〃	立体図形の分割
3	〃	〃　　〃　立体の組合せ
4	〃	立体の組合せ・平面図形の個数
5	〃	平面図形の個数
6	〃	立方体の個数
7	展開図と折紙	立方体の展開図
8	〃	〃　　〃　正多面体(立方体以外)の展開図
9	〃	正多面体(立方体以外)の展開図
10	〃	正多面体以外の展開図
11	〃	〃
12	〃	サイコロ
13	〃	〃
14	〃	〃
15	〃	〃
16	〃	折り紙
17	〃	〃
18	〃	〃
19	投影図・見取図・影	見取図と投影図
20		〃
21		〃
22		〃
23		投影図からの立体像
24		〃
25		〃

履修主題・履修内容	26	投影図・見取図・影	影
	27	〃	〃
	28	図形の回転・切断	軌跡
	29	〃	〃
	30	〃	〃
	31	〃	断面図
	32	〃	〃
	33	〃	〃
	34	〃	回転体
	35	〃	〃
	36	一筆書き	一筆書きできる条件
	37	道順	道順(最短経路)
	38	演習・プリント	総合演習
	39	〃	〃
	40	〃	〃
	41	〃	〃
	42	〃	〃
	43	〃	〃
	44	〃	〃
	45	〃	〃
	46		
	47		
	48		
	49		
	50		
	51		
	52		
	53		
	54		
	55		
	56		
	57		
	58		
	59		
	60		

2025年度

科目名	課題処理(空間把握)	担当教員	中村 哲士		
対象課程・学年	2 年課程　1 学年	クラス略号	C1	単位数(週の時数)	3 単位
授業形態	講義・演習	実施期間	前期	授業時間数(1回60分)	45 回
学習目標	公務員試験一次合格を目指す。				
テキスト 教材 参考図書	BookA(課題処理・空間把握)模試問題				

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合	評価基準
	認定試験	60%	期末に行われる認定試験の得点率を基に、60点満点に換算し学力得点を算出する。また、その他(模擬試験結果・授業態度・出席等)の得点を学力得点に合わせて総合的に評価する。成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、F(59点以下)とする。
	その他	40%	

履修上の留意事項	学生の実力や社会情勢の変化に伴い、オンラインでの授業実施の可能性がある。

履修主題・履修内容

回数	履修主題	履修内容
1	図形の分割と組合せ	平面図形の分割と組合せ
2	〃	立体図形の分割
3	〃	〃　・立体の組合せ
4	〃	立体の組合せ、平面図形の個数。
5	〃	平面図形の個数。
6	〃	立方体の個数
7	〃	〃
8	展開図と折り紙	立方体の展開図。
9	〃	〃　、正多面体(立方体以外)の展開図
10	〃	正多面体(立方体以外)の展開図。
11	〃	正多面体以外の展開図。
12	〃	〃
13	〃	サイコロ
14	〃	〃
15	〃	〃
16	〃	〃
17	〃	折り紙
18	〃	〃
19	〃	〃
20	〃	〃
21	投影図・見取図・影	見取図と投影図
22	〃	〃
23	〃	〃
24	〃	投影図からの立体像。
25	〃	〃

履修主題・履修内容	26	投影図・見取図・影	影
	27	〃	〃
	28	図形の回転の断	軌跡
	29	〃	〃
	30	〃	〃
	31	〃	断面図
	32	〃	〃
	33	〃	〃
	34	〃	回転体
	35	〃	〃
	36	一筆書き	一筆書きである条件
	37	道順	道順(最短経路)
	38	演習問題・プリント	総合演習
	39	〃	〃
	40	〃	〃
	41	〃	〃
	42	〃	〃
	43	〃	〃
	44	〃	〃
	45	〃	〃
	46		
	47		
	48		
	49		
	50		
	51		
	52		
	53		
	54		
	55		
	56		
	57		
	58		
	59		
	60		

2025年度

科目名	課題処理(空間把握)	担当教員	中村 哲士		
対象課程・学年	2 年課程　2 学年	クラス略号	C2	単位数(週の時数)	3 単位
授業形態	講義・演習	実施期間	前期	授業時間数(1回60分)	45 回

学習目標	公務員試験一次合格を目指す。
テキスト 教材 参考図書	Book B(課題処理・空間把握)・模試問題。

評価方法・評価基準

評価方法	評価割合	評価基準
認定試験	60%	期末に行われる認定試験の得点率を基に、60点満点に換算し学力得点を算出する。また、その他(模擬試験結果・授業態度・出席等)の得点を学力得点に合わせて総合的に評価する。成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、F(59点以下)とする。
その他	40%	

履修上の留意事項	学生の実力や社会情勢の変化に伴い、オンラインでの授業実施の可能性がある。

履修主題・履修内容

回数	履修主題	履修内容
1	図形の分割と組合せ	平面図形の分割と組合せ
2	〃	立体図形の分割
3	〃	〃　,平面図形の個数
4	〃	平面図形の個数,立方体の個数
5	〃	立方体の個数.
6	〃	〃
7	展開図と折り紙	立方体の展開図.
8	〃	〃　,正多面体(立方体以外)の展開図
9	〃	正多面体(立方体以外)の展開図
10	〃	正多面体以外の展開図.
11	〃	〃
12	〃	サイコロ
13	〃	〃
14	〃	折り紙
15	〃	〃
16	〃	〃
17	投影図・見取図と影	
18	〃	
19	〃	
20	〃	
21	図形の回転が作る軌跡	
22	〃	〃
23	〃	〃
24	〃	〃
25	〃	断面図

履修主題・履修内容	26	図形の回転移動	断面図
	27	〃	〃
	28	〃	〃
	29	道順・一筆書き	
	30	章末問題・プリント	総合演習
	31	〃	〃
	32	〃	〃
	33	〃	〃
	34	〃	〃
	35	〃	〃
	36	〃	〃
	37	〃	〃
	38	〃	〃
	39	〃	〃
	40	〃	〃
	41	〃	〃
	42	〃	〃
	43	〃	〃
	44	〃	〃
	45	〃	〃
	46		
	47		
	48		
	49		
	50		
	51		
	52		
	53		
	54		
	55		
	56		
	57		
	58		
	59		
	60		

2025年度

科目名	人文科学(日本史)	担当教員	早木 広子		
対象課程・学年	2 年課程　2 学年	クラス略号	C2	単位数(週の時数)	3 単位
授業形態	講義・演習	実施期間	前期	授業時間数(1回60分)	45 回
学習目標	公務員試験合格をめざし、問題解答能力を錬成する				
テキスト 教材 参考図書	日本史テキストブックB、演習プリント				

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合	評価基準
	認定試験	60%	期末に行われる認定試験の得点率を基に、60点満点に換算し学力得点を算出する。また、その他(模擬試験結果・授業態度・出席等)の得点を学力得点に合わせて総合的に評価する。成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、F(59点以下)とする。
	その他	40%	

履修上の留意事項	学生の実力や社会情勢の変化に伴い、オンラインでの授業実施の可能性がある。

履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容
	1	江戸初期の政治と外交	江戸幕府の成立、大名統制(武家諸法度)、鎖国政策
	2	江戸幕府の改革	享保の改革、田沼政治、寛政の改革、天保の改革
	3	開国と幕府の滅亡	日米和親・修好通商条約、大政奉還、王政復古の大号令
	4	近世の文化	元禄文化と化政文化の特徴と諸作品
	5	明治新政府の政策	版籍奉還・廃藩置県・徴兵令・地租改正
	6	自由民権運動と立憲政治	運動の始まりと経過、大日本帝国憲法の制定
	7	日清・日露戦争	戦争の原因と下関条約、ポーツマス条約
	8	大正時代の政治と外交①	護憲運動、第一次世界大戦への参戦
	9	大正時代の政治と外交②	ヴェルサイユ条約、ワシントン会議
	10	昭和初期の政治	恐慌と政府の対策
	11	昭和初期の外交	満州事変、国際連盟脱退、日中戦争・太平洋戦争までの経過
	12	戦後の復興	戦後の占領政策(五大改革)
	13	独立の回復	サンフランシスコ平和条約、日米安全保障条約の締結
	14	戦後の内閣①	1950年代から60年代の内閣の政策
	15	戦後の内閣②	1970年代から90年代の内閣の政策
	16	飛鳥時代	天皇中心の中央集権制の確立、律令制度
	17	奈良・平安時代	聖武天皇、桓武天皇・嵯峨天皇の政策、摂関政治、院政と平氏政権
	18	古代の文化	天平文化・国風文化を中心に文化の特徴と諸作品を確認
	19	鎌倉時代	鎌倉幕府の機構、執権政治、元寇後の幕府の衰退
	20	室町時代	室町幕府の成立と機構(特に守護大名)、日明貿易、応仁の乱
	21	中世の文化	鎌倉時代の仏教、北山・東山文化の特徴をおさえる
	22	織豊政権	織田信長・豊臣秀吉の政策(特に信長の宗教政策、秀吉の太閤検地)
	23	総合演習問題①	過去問チェック(江戸幕府の政策)

履修主題・履修内容	24	総合演習問題②	過去問チェック（江戸幕府の改革）
	25	総合演習問題③	過去問チェック（江戸時代の文化）
	26	総合演習問題④	過去問チェック（開国と江戸幕府の滅亡）
	27	総合演習問題⑤	過去問チェック（明治新政府の政策）
	28	総合演習問題⑥	過去問チェック（日清・日露戦争）
	29	総合演習問題⑦	過去問チェック（大正時代の政治と外交）
	30	総合演習問題⑧	過去問チェック（昭和初期の政治と外交）
	31	総合演習問題⑨	過去問チェック（戦後の政治と外交）
	32	実力強化問題①	政治史の総合問題
	33	実力強化問題②	外交史の総合問題
	34	実力強化問題③	経済史の総合問題
	35	実力強化問題④	教育史の総合問題
	36	実力強化問題⑤	内閣史の総合問題
	37	実力強化問題⑥	文化史の総合問題
	38	実力強化問題⑦	消防官問題①（政令都市）
	39	実力強化問題⑧	消防官問題②（地方）
	40	実力強化問題⑨	地方試験①（政令指定都市）
	41	実力強化問題⑩	地方試験②
	42	実力強化問題⑪	地方試験②
	43	実力強化問題⑫	地方試験③
	44	実力強化問題⑬	地方試験④
	45	実力強化問題⑭	地方試験⑤

2025年度

科目名	人文科学(日本史)	担当教員	早木 広子		
対象課程・学年	1 年課程　1 学年	クラス略号	A1	単位数(週の時数)	3 単位
授業形態	講義・演習	実施期間	前期	授業時間数(1回60分)	45 回
学習目標	公務員試験合格をめざし、日本史の基礎知識を習得し、得点力を向上させる。				
テキスト 教材 参考図書	日本史テキストブックA　演習プリント				

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合	評価基準
	認定試験	60%	期末に行われる認定試験の得点率を基に、60点満点に換算し学力得点を算出する。また、その他(模擬試験結果・授業態度・出席等)の得点を学力得点に合わせて総合的に評価する。成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、F(59点以下)とする。
	その他	40%	

履修上の留意事項	学生の実力や社会情勢の変化に伴い、オンラインでの授業実施の可能性がある。

履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容
	1	江戸幕府の成立	大名統制(武家諸法度)、幕府の機構、鎖国政策
	2	幕政の安定と改革	文治政治、享保・寛政・天保の改革、田沼政治
	3	開国と幕末の情勢	日米和親・修好通商条約・薩長同盟・大政奉還・王政復古の大号令
	4	明治新政府の政策	版籍奉還・廃藩置県・徴兵令・地租改正の内容
	5	自由民権運動と立憲政治	運動の始まりと経過、憲法制定・国会開設の過程
	6	日清・日露戦争	両戦争の原因と下関・ポーツマス条約の内容
	7	大正時代の政治と外交	護憲運動、第一次世界大戦への参戦
	8	昭和初期の政治と外交	金融恐慌、昭和恐慌、満州事変と国際連盟の脱退
	9	日中戦争と太平洋戦争	日中戦争・太平洋戦争までの日本の外交と国内政治
	10	戦後の復興	占領政策(五大改革)
	11	戦後の政治と外交	国際社会への復帰、日米安全保障条約の締結
	12	戦後の内閣史	1960年代から1980年代の内閣の諸政策
	13	昭和から平成へ	1990年代から2000年代の内閣の諸政策
	14	律令国家の成立と発展	天皇中心の中央集権制の確率過程、聖武天皇の政策
	15	平安時代の政治	桓武天皇・嵯峨天皇の政策、摂関政治、院政と平氏政権
	16	鎌倉時代の政治	鎌倉幕府の機構、執権政治、元寇後の社会の変化
	17	室町時代の政治と外交	室町幕府の機構、日明貿易、応仁の乱
	18	戦国時代	戦国大名の政策(楽市・楽座令、指出検地)
	19	織豊政権	信長と秀吉の政策(太閤検地・刀狩・バテレン追放令)
	20	文化史の総まとめ	古代から近世の文化の特徴と諸作品の確認
	21	演習問題①	文化史の総まとめ問題
	22	演習問題②	過去問演習(江戸時代①、江戸幕府の支配体制)
	23	演習問題③	過去問演習(江戸時代②、幕政改革)

履修主題・履修内容	24	演習問題④	過去問演習（江戸時代③、開国と江戸幕府の滅亡）
	25	演習問題⑤	過去問演習（明治時代①、新政府の政策）
	26	演習問題⑥	過去問演習（明治時代②、立憲政治の確立）
	27	演習問題⑦	過去問演習（明治時代③、日清・日露戦争）
	28	演習問題⑧	過去問演習（大正時代の政治）
	29	演習問題⑨	過去問演習（第一世界大戦への参戦、大正時代の経済）
	30	演習問題⑩	過去問演習（昭和初期の恐慌、満州事変と国際連盟脱退）
	31	演習問題⑪	過去問演習（日中戦争と太平洋戦争）
	32	演習問題⑫	過去問演習（戦後の改革）
	33	演習問題⑬	過去問演習（1960年代から80年代の内閣史）
	34	演習問題⑭	過去問演習（古代の政治と外交）
	35	演習問題⑮	過去問演習（鎌倉時代の政治）
	36	演習問題⑯	過去問演習（室町時代の政治と日明貿易）
	37	演習問題⑰	過去問演習（織田信長と豊臣秀吉の政策）
	38	演習問題⑱	過去問演習（テキスト　総合演習問題）
	39	演習問題⑲	過去問演習（テキスト　総合演習問題）
	40	演習問題⑳	過去問演習（地方試験問題）
	41	演習問題21	過去問演習（地方、消防官問題）
	42	演習問題22	過去問演習（地方、消防官問題）
	43	演習問題23	過去問演習（地方、行政①）
	44	演習問題24	過去問演習（地方、行政②）
	45	演習問題25	過去問演習（地方、行政③）

2025年度

科目名	人文科学（日本史）	担当教員	早木　広子		
対象課程・学年	2 年課程　　1 学年	クラス略号	C1	単位数（週の時数）	2 単位
授業形態	講義・演習	実施期間	前期	授業時間数（1回60分）	30 回
学習目標	公務員試験の合格めざし、基礎知識の定着をはかる				
テキスト 教材 参考図書	日本史テキストブックA、演習問題プリント				

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合	評価基準
	認定試験	60%	期末に行われる認定試験の得点率を基に、60点満点に換算し学力得点を算出する。また、その他（模擬試験結果・授業態度・出席等）の得点を学力得点に合わせて総合的に評価する。成績評価基準は、S（90点以上）、A（80点以上）、B（70点以上）、C（60点以上）、F（59点以下）とする。
	その他	40%	

履修上の留意事項	学生の実力や社会情勢の変化に伴い、オンラインでの授業実施の可能性がある。

履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容
	1	旧石器・縄文・弥生時代	各時代の特徴、特に弥生時代（自然経済から生産経済へ）
	2	律令国家の成立	推古・天智・天武・持統・文武天皇の政策
	3	律令体制	大宝律令下の行政制度・土地制度・税制
	4	奈良時代の政治	聖武天皇の鎮護国家政策、土地制度の変更
	5	演習問題①	飛鳥時代から奈良時代までの重要事項確認
	6	平安初期の政治	律令制の再建（桓武・嵯峨天皇の政策）
	7	摂関政治	藤原氏による摂関政治の確立過程
	8	院政と平氏政権	白河上皇の院政、保元・平治の乱、平氏政権の確立
	9	確認テスト②	平安時代の重要事項の確認
	10	鎌倉幕府の確立	治承・寿永の乱、鎌倉幕府の機構、御家人制度
	11	執権政治	北条氏による執権政治の確立、御成敗式目の制定
	12	元寇と幕府の滅亡	元寇後の社会の変化、後醍醐天皇による倒幕
	13	確認テスト③	鎌倉時代の重要事項の確認
	14	幕府の成立と南北朝の	幕府の成立と守護大名の役割、南北朝の統一
	15	日明貿易	足利義満による貿易の開始（朝貢貿易、勘合府の利用）、経過
	16	商工業の発達と一揆	商工業の発達、土一揆（正長・嘉吉の土一揆）、加賀の一向一揆
	17	応仁の乱	応仁の乱の原因と結果、下剋上の風潮
	18	戦国大名の登場	戦国大名の政策（楽市・楽座令、指出検地）
	19	確認テスト④	室町時代の重要事項の確認
	20	織豊政権①	織田信長の統一政策（各戦国大名との戦い、宗教政策）
	21	織豊政権②	豊臣秀吉の統一政策（太閤検地、刀狩、バテレン追放令）
	22	確認テスト⑤	織田信長・豊臣秀吉の統一政策の重要事項の確認
	23	江戸幕府の成立	関ヶ原の戦い、大坂冬の陣・夏の陣、大名統制（武家諸法度）

24	江戸幕府の外交	徳川家康の積極外交、秀忠・家光の鎖国政策
25	確認テスト⑥	江戸初期の政治と外交の重要事項の確認
26	幕政の安定	5代将軍綱吉の政策、新井白石の政策(正徳の政治)
27	幕政の改革①	享保の改革、田沼政治
28	幕政の改革②	寛政・天保の改革
29	確認テスト⑦	改革の重要事項と内容の確認
30	鎖国から開国へ	ペリー来航から日米修好通商条約締結までの経過

2025年度

科目名	人文科学(地理)	担当教員	久保 秀明		
対象課程・学年	1年課程　1学年	クラス略号	A1	単位数(週の時数)	3単位
授業形態	講義・演習	実施期間	前期	授業時間数(1回60分)	45回
学習目標	公務員試験に合格できる教養を学習し実力を養成する。特に頻出単元や苦手な単元をしっかり克服できるよう授業を進める。				
テキスト 教材 参考図書	人文科学地理　TEXTBOOK A 模試・プリント				

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合	評価基準
	認定試験	60%	期末に行われる認定試験の得点率を基に、60点満点に換算し学力得点を算出する。また、その他(模擬試験結果・授業態度・出席等)の得点を学力得点に合わせて総合的に評価する。成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、F(59点以下)とする。
	その他	40%	

履修上の留意事項	学生の実力や社会情勢の変化に伴い、オンラインでの授業実施の可能性がある。

履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容
	1	地図投影法	地図についての基本的知識を学習し出題傾向に沿って整理する(特に用途による図法の特徴を整理)。
	2	地図記号・地形図	身近な地域を表す地図の特徴と様々な地図記号を確認させる。
	3	プレートテクトニクス	地球の成り立ち及び地球についての基本的知識の整理を行い、プレート境界について学習する。
	4	大地形	安定陸塊、古期造山帯、新期造山帯の特徴とそれぞれに属する山地、平原を整理する。
	5	平野(侵食平野)	構造平野を中心にケスタ地形などを解説する。
	6	平野(堆積平野)	沖積平野(扇状地・氾濫原・三角州)を中心に進める。
	7	その他の地形 特殊な地形	海岸の種類を整理しさんご礁、カルスト地形、氷河地形について解説する。
	8	気候(気候因子など)	気候の種類を決定する気候要素(気温・風・降水量など)と気候因子を関連づけて気候のメカニズムについて解説する。
	9	気候(ケッペンの気候区分)	気候区分を示しそれぞれの特徴、分布を把握させ、更に農業との関連についても触れる。
	10	熱帯・乾燥帯	熱帯雨林気候、サバナ気候、熱帯モンスーン気候、砂漠気候、ステップ気候について解説する。
	11	温帯	温暖冬季少雨気候、温暖湿潤気候、西岸海洋性気候地中海性気候について解説する。
	12	亜寒帯・寒帯	亜寒帯湿潤気候、亜寒帯冬季少雨気候、ツンドラ気候、氷雪気候について解説する。
	13	土壌・植生	世界の成帯土壌、間帯土壌を整理し、気候に関連する植生分布についても触れる。
	14	時差・人口	時差の計算法、世界の人口動態について説明する。
	15	環境問題	世界の主な環境問題(酸性雨、地球温暖化、砂漠化、オゾン層破壊など)について詳説する。
	16	資源・エネルギー	世界の主な資源国の鉱産物産出量・輸出量について授業を進め、限りある天然資源の現状・動性について言及する。
	17	日本地理(国土)	日本の国土・領域、地帯構造などについて解説しあらためて、日本の国土について確認させる。
	18	日本地理(産業)	主な工業地帯、農業の現状及び課題を説明し、各都道府県の概要を確認させる。
	19	東アジア	世界の工場として成長している中国を中心に学習し、産業・文化・自然に留意して進める。
	20	東南アジア	東南アジアの自然、諸国の産業、特に農業に着目させ、生活、宗教などの文化についても理解を深める。
	21	南アジア	新興国のひとつとして成長しているインドを中心に進め、インドの産業、文化について理解を深め、周辺国についても言及する。
	22	西アジア	世界の産油地域としての側面、及び歴史の中で育まれた宗教にも留意しつつ、複雑な情勢の把握にも努める。
	23	西ヨーロッパ	歴史的に発展が早かった同地域の地理的特徴、気候・地形を把握させ、各国の地誌を整理する。
	24	旧ソ連・東ヨーロッパ	ロシアを中心に同国の歴史・地理を把握させ、現在進行中のウクライナとの緊張状態についても言及する。
	25	アメリカ合衆国	各方面で世界をリードしてきた同国の現状を押えつつ、自然・産業・生活・文化を学習する。

履修主題・履修内容	26	南アメリカ	広大な南アメリカ大陸の様々な自然の特徴、及び生活・文化を学習し、特にブラジル・アルゼンチン・ペルーなどについて詳しく触れたい。
	27	オセアニア	主にオーストラリア・ニュージーランドの自然・農業や文化民・文化などを学習させる。
	28	アフリカ・南極	アフリカの自然の特徴，諸国の地誌を学習し、南極については、特定国の領土に属さないこと、厳しい自然であることに言及する。
	29	演習問題(自然)	総合的な内容の演習問題、過去問題をアレンジして用意し、既習内容の定着をはかる
	30	〃	〃
	31	〃	〃
	32	〃	〃
	33	〃	〃
	34	〃 (産業)	〃
	35	〃	〃
	36	〃	〃
	37	〃	〃
	38	総合演習問題	試験前の総整理
	39	〃	〃
	40	〃	〃
	41	〃	〃
	42	〃	〃
	43	〃	〃
	44	〃	〃
	45	〃	〃
	46		
	47		
	48		
	49		
	50		
	51		
	52		
	53		
	54		
	55		
	56		
	57		
	58		
	59		
	60		

2025年度

科目名	人文科学(地理)	担当教員	久保 秀明		
対象課程・学年	2 年課程　1 学年	クラス略号	C1	単位数(週の時数)	2 単位
授業形態	講義・演習	実施期間	前期	授業時間数(1回60分)	30 回
学習目標	公務員試験に合格する為の教養を学習し、実力を養成する。特に頻出事項・単元や苦手な単元をしっかり克服できるよう授業を進める。				
テキスト教材参考図書	人文科学 地理　TEXTBOOKA 模試・プリント				

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合	評価基準
	認定試験	60%	期末に行われる認定試験の得点率を基に、60点満点に換算し学力得点を算出する。また、その他(模擬試験結果・授業態度・出席等)の得点を学力得点に合わせて総合的に評価する。成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、F(59点以下)とする。
	その他	40%	

履修上の留意事項	学生の実力や社会情勢の変化に伴い、オンラインでの授業実施の可能性がある。

履修主題・履修内容

回数	履修主題	履修内容
1	地図投影法	地図についての基本的知識を学習する。特に地図の用途による図法の特徴を把握させる。
2	地図記号、地形図	身近かな地域を示す地図の特徴及び様々な地図記号を確認させる。
3	地球のすがた	地球の成り立ち、サイズの計り方などの基本的な知識の整理を行い、水陸分布についても触れる。
4	プレートテクトニクス	地球の表面を覆うプレートのしくみ、及びそれらの移動によって形成された境界の地形を整理する。
5	大地形	安定陸塊、古期造山帯、新期造山帯の特徴をそれぞれに属する山地、平原を整理しながら把握させる。
6	平野(侵食平野)	構造平野を中心にケスタ地形の構造などを説明する。
7	平野(堆積平野)	沖積平野(扇状地・氾濫原・三角州)を中心に進める。
8	様々な海岸地形	沈水海岸の例としてリアス式海岸・フィヨルド・三角江を説明し、離水海岸として海岸平野の例を示し整理する。
9	その他の地形 特殊な地形	さんご礁・カルスト地形、氷河地形、乾燥地形、火山などの解説を行う。
10	気候、気候因子など	気候の種類を決定する気候要素(気温・風・降水量など)と気候因子を関連づけて気候のメカニズムを説明する。
11	気候、ケッペンの気候区分	気候区分を示し、それぞれの特徴、分布を把握させ、特に農業との関連に留意して進める。
12	熱帯、乾燥帯	熱帯雨林気候、サバナ気候、熱帯モンスーン気候、砂漠気候、ステップ気候について解説する。
13	温帯	温暖冬季少雨気候、温暖湿潤気候、西岸海洋性気候、地中海性気候について解説する。
14	亜寒帯、寒帯	亜寒帯湿潤気候、亜寒帯冬季少雨気候、ツンドラ気候、氷雪気候について解説する。
15	土壌、植生	世界の成帯土壌、間帯土壌を整理し、気候に関連する植生分布について説明する。
16	時差	地球上の時差の計算方法を様々な都市間で計算、練習を行い、理解に努める。
17	人口	世界の人口動態について途上国と先進国の比較等、傾向を説明する。人口分布、人口大国についても触れる。
18	環境問題	世界の主な環境問題(地球温暖化、酸性雨、オゾン層の破壊、砂漠化など)について言及する。
19	資源、エネルギー	世界の主な資源国の鉱産資源産出量、輸出入量について授業を進め、限りある天然資源の現状、重要性について言及する。
20	日本地理(国土)	日本の国土、領域、地形構造などについて触れあらためて日本国土について理解を深める。
21	日本地理(産業)	主な工業地帯、農業の現状、課題について理解を深める。
22	各都道府県概要	各都道府県の産業、自然などの特徴をまとめる。
23	〃	〃
24	演習問題	既習学習内容の定着をはかる。
25	〃	〃

履修主題・履修内容	26	〃	〃
	27	〃	〃
	28	(世界地誌) 東アジア	世界の工場として成長している中国を中心に学習する。産業、文化、自然に留意して進める。
	29	東南アジア	東南アジアの自然及び東南アジア諸国の産業-特に農業に注目させ、生活、宗教などの文化についても理解を深める。 東南アジアの島嶼部の地誌を学習させる。
	30	〃	
	31		
	32		
	33		
	34		
	35		
	36		
	37		
	38		
	39		
	40		
	41		
	42		
	43		
	44		
	45		
	46		
	47		
	48		
	49		
	50		
	51		
	52		
	53		
	54		
	55		
	56		
	57		
	58		
	59		
	60		

2025年度

科目名	人文科学(地理)	担当教員	久保 秀明		
対象課程・学年	2年課程　2学年	クラス略号	C2	単位数(週の時数)	3単位
授業形態	講義・演習	実施期間	前期	授業時間数(1回60分)	45回
学習目標	公務員試験に合格する為の実力を養成する。 特に頻出単元や苦手な単元をしっかり克服できるよう授業を展開する。				
テキスト 教材 参考図書	人文科学地理 TEXTBOOK B プリント、模試				

評価方法・評価基準

評価方法	評価割合	評価基準
認定試験	60%	期末に行われる認定試験の得点率を基に、60点満点に換算し学力得点を算出する。また、その他(模擬試験結果・授業態度・出席等)の得点を学力得点に合わせて総合的に評価する。成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、F(59点以下)とする。
その他	40%	

履修上の留意事項：学生の実力や社会情勢の変化に伴い、オンラインでの授業実施の可能性がある。

履修主題・履修内容

回数	履修主題	履修内容
1	自然地理復習(地形)	1年次に既習している単元であるが、頻出単元であるので更に定着させる為に復習を行う。主に模試と過去問をアレンジした演習問題で進め、重要事項を詳説する。
2	自然地理復習(気候)	気候も又頻出単元である。基本的な内容から始めて、特に農業との関連を重視し、それぞれの気候下における人々の生活を説明し、定着をはかる。
3	自然地理復習(土壌)	更に土壌、植生などについても触れる。
4	自然地理復習(植生)	
5	地図投影法	地図についての基本的知識を学習し、出題傾向に沿って整理する(用途による図法の特徴を整理)。
6	地図記号 地形図	身近かな地域を表す地図の特徴と様々な地図記号を確認させる。
7	時差、人口	時差の計算法、世界の人口動態について説明する。
8	環境問題	世界の主な環境問題(地球温暖化、酸性雨、オゾン層の破壊、砂漠化など)について詳説する。
9	資源・エネルギー	世界の主な資源国の鉱産物産出量、輸出入量について授業を進め、限りある天然資源の現状、重要性について説明する。
10	日本地理(国土・産業)	日本地理について頻出される事項(国土、地帯構造、産業構造など)を概説する。
11	世界地誌 中華人民共和国	世界の工場として発展している中国の地誌を学習する。産業、文化、自然を整理する。
12	朝鮮半島	日本との関わりを押え、半島の国々の生活、文化、産業を学習する。
13	南アジア	新興国として成長しているインドを中心に同国の現状、自然、産業、文化を学習し、周辺国についても触れる。
14	西アジア(中東)	世界有数の産油地域として側面、歴史の中で育くまれた宗教に留意しつつ、複雑な情勢を理解させる。
15	東南アジア(大陸部)	東南アジアの自然、諸国の産業、特に農業に注視し、更に宗教等の文化、生活についても理解させる。
16	東南アジア(島嶼部)	同上
17	西ヨーロッパ	歴史的に発展の早い同地域の地理的特徴、気候、地形などを把握させ、各国の地誌を整理する。
18	旧ソ連・東ヨーロッパ	ロシアを中心に同国の歴史、地理を把握させ、現在進行中のウクライナとの緊張状態についても言及する。
19	アメリカ合衆国	様々な方面で世界をリードしてきた同国の現状を押えつつ、自然、産業、生活、文化を学習する。
20	カナダ、メキシコ合衆国	北アメリカ大陸を形成する2国の地誌をアメリカ合衆国との関係をふまえた上で整理する。メキシコについては古代文明についても触れたい。
21	オーストラリア	乾燥地だけではなく、東部、南東部の地域の社会も整理したい。又近年の多文化主義、先住民の生活にも言及する。ニュージーランドも学習する。
22	南極その他	厳しい自然、各国の調査活動、どの国の領土にも属さない事も含め、アネクメーネとしての厳しい自然を理解させる。
23	南アメリカ	広大な南アメリカ大陸の様々な自然の特徴及び生活文化を学習する。特にブラジル、アルゼンチンは詳しく触れたい。
24	アフリカ(北・西部)	南東アフリカとの民族、文化の違い、産業(石油、アルミニウムなど)、地誌について理解を深める。
25	アフリカ(南・東部)	北・西アフリカとの民族、文化の違い、産業(銅生産)、南アフリカ共和国の政治、産業について理解を深める。

履修主題・履修内容	26	世界遺産	特に日本の文化遺産・自然遺産を整理
	27	民族・人種	各民族の生活習慣・文化、人種の特徴と
	28	〃	分布を確認させる。
	29	演習問題(自然)	総合的な内容の演習問題・過去問題
	30	〃	をアレンジして用意し、既習内容の定着を
	31	〃	はかる 〃
	32	〃	〃
	33	〃	〃
	34	〃 (産業)	〃
	35	〃	〃
	36	〃	〃
	37	〃	〃
	38	総合演習問題	試験前の総整理
	39	〃	〃
	40	〃	〃
	41	〃	〃
	42	〃	〃
	43	〃	〃
	44	〃	〃
	45	〃	〃
	46		
	47		
	48		
	49		
	50		
	51		
	52		
	53		
	54		
	55		
	56		
	57		
	58		
	59		
	60		

2025年度

科目名	社会科学(経済)	担当教員	柏木　士郎		
対象課程・学年	2 年課程　2 学年	クラス略号	C2	単位数(週の時数)	2 単位
授業形態	講義・演習	実施期間	前期	授業時間数(1回60分)	30 回
学習目標	公務員試験合格に必要な経済・社会の知識を身につける。				
テキスト 教材 参考図書	BOOK Bを使用する。				

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合	評価基準
	認定試験	60%	期末に行われる認定試験の得点率を基に、60点満点に換算し学力得点を算出する。また、その他(模擬試験結果・授業態度・出席等)の得点を学力得点に合わせて総合的に評価する。成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、F(59点以下)とする。
	その他	40%	

履修上の留意事項	学生の実力や社会情勢の変化に伴い、オンラインでの授業実施の可能性がある。

履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容
	1	経済学説史と会社組織について	経済学の歴史、経済学者の思想について体系的に学ぶ。また、会社組織の類型、株式会社の特徴を理解する。
	2	経済学説史と会社組織について	経済学の歴史、経済学者の思想について体系的に学ぶ。また、会社組織の類型、株式会社の特徴を理解する。
	3	市場と価格	需要曲線、供給曲線の特徴、完全競争市場の特徴、寡占市場の特徴について学び、価格がどのように決定されているかを学ぶ。
	4	市場と価格	需要曲線、供給曲線の特徴、完全競争市場の特徴、寡占市場の特徴について学び、価格がどのように決定されているかを学ぶ。
	5	国民所得と経済成長	国民経済計算体系について学ぶ。併せて、インフレーションとデフレーションの特徴について理解する。
	6	国民所得と経済成長	国民経済計算体系について学ぶ。併せて、インフレーションとデフレーションの特徴について理解する。
	7	金融と金融政策	日本銀行の特徴と金融政策について学ぶ。
	8	金融と金融政策	日本銀行の特徴と金融政策について学ぶ。
	9	財政と財政政策	財政の3機能、財政政策、租税、国債、財政投融資について学ぶ。
	10	財政と財政政策	財政の3機能、財政政策、租税、国債、財政投融資について学ぶ。
	11	財政と財政政策	財政の3機能、財政政策、租税、国債、財政投融資について学ぶ。
	12	戦後の日本経済	戦後の日本経済の歴史について学ぶ。併せて、日本の農業の特徴について学ぶ。
	13	戦後の日本経済	戦後の日本経済の歴史について学ぶ。併せて、日本の農業の特徴について学ぶ。
	14	戦後の国際経済	国際収支統計、為替相場について学ぶ。併せて、国際組織の特徴についても学ぶ。
	15	戦後の国際経済	国際収支統計、為替相場について学ぶ。併せて、国際組織の特徴についても学ぶ。
	16	労働問題	労働基本権や労働三法について学ぶ。
	17	労働問題	労働基本権や労働三法について学ぶ。
	18	社会福祉	日本の社会福祉の特徴について学ぶ。
	19	社会福祉	日本の社会福祉の特徴について学ぶ。
	20	公害と環境問題	京都議定書・パリ協定といった環境問題や、日本の公害問題について学ぶ。
	21	公害と環境問題	京都議定書・パリ協定といった環境問題や、日本の公害問題について学ぶ。
	22	社会心理	マズローの欲求五段階説やフロイトの防衛機制、エリクソンの発達課題等について学ぶ。
	23	社会心理	マズローの欲求五段階説やフロイトの防衛機制、エリクソンの発達課題等について学ぶ。

24	社会の諸問題	現代社会の諸問題について学ぶ。
25	社会の諸問題	現代社会の諸問題について学ぶ。
26	過去問演習	プリント等を使用し、これまでの公務員試験に出題された過去問を解く。
27	過去問演習	プリント等を使用し、これまでの公務員試験に出題された過去問を解く。
28	過去問演習	プリント等を使用し、これまでの公務員試験に出題された過去問を解く。
29	過去問演習	プリント等を使用し、これまでの公務員試験に出題された過去問を解く。
30	過去問演習	プリント等を使用し、これまでの公務員試験に出題された過去問を解く。

2025年度

科目名	社会科学(経済)	担当教員	柏木 士郎		
対象課程・学年	1 年課程　1 学年	クラス略号	A1	単位数(週の時数)	2 単位
授業形態	講義・演習	実施期間	前期	授業時間数(1回60分)	30 回
学習目標	公務員試験合格に必要な経済・社会の知識を身につける。				
テキスト 教材 参考図書	BOOK Aを使用する。				

評価方法・評価基準

評価方法	評価割合	評価基準
認定試験	60%	期末に行われる認定試験の得点率を基に、60点満点に換算し学力得点を算出する。また、その他(模擬試験結果・授業態度・出席等)の得点を学力得点に合わせて総合的に評価する。成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、F(59点以下)とする。
その他	40%	

履修上の留意事項

学生の実力や社会情勢の変化に伴い、オンラインでの授業実施の可能性がある。

履修主題・履修内容

回数	履修主題	履修内容
1	経済活動の発展と現代の企業	経済学の歴史、経済学者の思想について体系的に学ぶ。また、会社組織の類型、株式会社の特徴を理解する。
2	経済活動の発展と現代の企業	経済学の歴史、経済学者の思想について体系的に学ぶ。また、会社組織の類型、株式会社の特徴を理解する。
3	経済活動の発展と現代の企業	経済学の歴史、経済学者の思想について体系的に学ぶ。また、会社組織の類型、株式会社の特徴を理解する。
4	市場と価格	需要曲線、供給曲線の特徴、完全競争市場の特徴、寡占市場の特徴について学び、価格がどのように決定されているかを学ぶ。
5	市場と価格	需要曲線、供給曲線の特徴、完全競争市場の特徴、寡占市場の特徴について学び、価格がどのように決定されているかを学ぶ。
6	市場と価格	需要曲線、供給曲線の特徴、完全競争市場の特徴、寡占市場の特徴について学び、価格がどのように決定されているかを学ぶ。
7	国民所得と経済成長	国民経済計算体系について学ぶ。併せて、インフレーションとデフレーションの特徴について理解する。
8	国民所得と経済成長	国民経済計算体系について学ぶ。併せて、インフレーションとデフレーションの特徴について理解する。
9	国民所得と経済成長	国民経済計算体系について学ぶ。併せて、インフレーションとデフレーションの特徴について理解する。
10	金融と金融政策	日本銀行の特徴と金融政策について学ぶ。
11	金融と金融政策	日本銀行の特徴と金融政策について学ぶ。
12	金融と金融政策	日本銀行の特徴と金融政策について学ぶ。
13	財政と財政政策	財政の機能、財政政策、租税、国債、財政投融資について学ぶ。
14	財政と財政政策	財政の機能、財政政策、租税、国債、財政投融資について学ぶ。
15	財政と財政政策	財政の機能、財政政策、租税、国債、財政投融資について学ぶ。
16	戦後の日本経済	戦後の日本経済の歴史について学ぶ。併せて、日本の農業の特徴について学ぶ。
17	戦後の日本経済	戦後の日本経済の歴史について学ぶ。併せて、日本の農業の特徴について学ぶ。
18	戦後の日本経済	戦後の日本経済の歴史について学ぶ。併せて、日本の農業の特徴について学ぶ。
19	戦後の国際経済	国際収支統計、為替相場について学ぶ。併せて、国際組織の特徴についても学ぶ。
20	戦後の国際経済	国際収支統計、為替相場について学ぶ。併せて、国際組織の特徴についても学ぶ。
21	戦後の国際経済	国際収支統計、為替相場について学ぶ。併せて、国際組織の特徴についても学ぶ。
22	労働問題	労働基本権や労働三法について学ぶ。
23	労働問題	労働基本権や労働三法について学ぶ。

24	社会保障	日本の社会保障の特徴について学ぶ。
25	社会保障	日本の社会保障の特徴について学ぶ。
26	少子高齢化社会と人口問題	国勢調査、高齢社会白書等のデータから、日本社会の少子高齢化について学ぶ。
27	少子高齢化社会と人口問題	国勢調査、高齢社会白書等のデータから、日本社会の少子高齢化について学ぶ。
28	環境問題	京都議定書・パリ協定といった環境問題や、日本の公害問題について学ぶ。
29	社会心理	マズローの欲求五段階説やフロイトの防衛機制、エリクソンの発達課題等について学ぶ。
30	社会の諸問題	現代社会の諸問題について学ぶ。